

地域づくり技術研究所 活動報告 vol.1

『 中部ライフガードTEC2013 防災・減災・危機管理展 』に出展

近年、中部地方を始めとして南海トラフの巨大地震の発生が懸念され、防災・減災に向けた取り組みの推進が課題となっています。このような中で防災意識の向上と防災・減災関係産業の振興を図ることを目的とした、多様な業種の企業が参加する展示会が企画され、これに出展することにより、防災力の向上に向けた防災啓発活動を実施しました。

● 実施年月日

平成25年5月24日(金) ~ 25日(土)

● 実施場所

ポートメッセなごや2号館(名古屋市国際展示場)

● 主催

名古屋国際見本市委員会 (構成:名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所 他)

● 見学者

約300名(2日間)

● 実施内容

・ DVD上映 モニター3ヶ所設置

映像DVD 「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」

「昭和 34 年 伊勢湾台風」「忘れない、東海豪雨」

「南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会 広域連携防災訓練」

・ パネル展示 計28枚

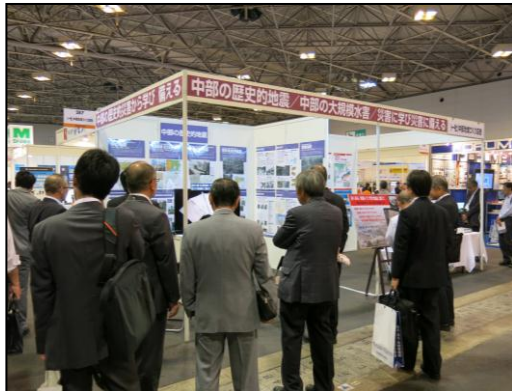
左ブース: 明応地震・宝永地震・昭和東南海地震・濃尾地震など中部の歴史的地震 14枚

右ブース: 伊勢湾台風・東海(恵南)豪雨・三六災害など中部の大規模水害 6枚、

痕跡が伝えるもの 4枚、未来への備え 3枚、防災活動を支援します 1枚

・ 啓発資料

近年の豪雨災害記録集 2010 “東海(恵南)豪雨から10年”



地域づくり技術研究所 活動報告 vol.2

『平成25年度 天竜川上流水防演習』に参加

天竜川上流域における洪水被害、大規模土砂災害被害を想定し、水防技術の向上及び水防思想の普及と理解を図ることなどを目的として実施された水防演習に参加し、この地域で発生した三六災害等に関するDVD上映やパネル展示を通じ、防災力の向上に向けた防災啓発活動を実施しました。

● 実施年月日

平成25年5月26日(日) 8:30~12:00

● 実施場所

【メイン会場】長野県飯田市川路地先(一級河川天竜川右岸)

● 主催

国土交通省中部地方整備局、長野県、関係市町村 他

後援：一般社団法人 中部地域づくり協会 他

● 参加者

約2,300名(演習参加者 約2,000名、来賓・一般・報道 約300名)

● 実施内容

・ DVD上映 モニター2ヶ所設置

映像DVD 「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」

「三六災害から50年”よみがえった伊那谷 ~そして今”」

・ パネル展示 計30枚

明応地震・宝永地震・安政東海地震・東日本大震災など歴史的地震 12枚、

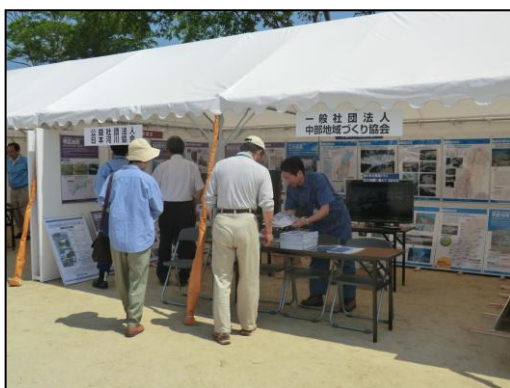
三六災害・平成18年7月豪雨など中部の大規模水害 12枚、

痕跡が伝えるもの 1枚、未来への備え 4枚、防災活動を支援します 1枚

・ 啓発資料

近年の豪雨災害記録集 2011 “三六災害から50年”

思い出す三六災害



地域づくり技術研究所 活動報告 vol.3

『 名城大学自然災害リスク軽減研究センター開所記念イベント 』に参加

迫り来る大規模地震災害や近年頻発する流域圏の水害・土砂災害を研究対象としている同センターの開所にあたり、第1部は特別講演会として名古屋大学大学院教授 辻本哲郎氏や日本大学名誉教授 斎藤公男氏が講演され、第2部では同センター研究説明と施設案内が催されました。当研究所はこれに併設して、DVD上映やパネル展示を実施し、主に第2部に参加された方を対象とした防災力の向上に向けた防災啓発活動を実施しました。

●実施年月日

平成25年5月30日(木)～31日(金)

●実施場所

名城大学 天白キャンパス 研究実験棟Ⅱ1階

●主催

名城大学 自然災害リスク軽減研究センター

●見学者

約100名(主にセンター研究説明と施設案内に参加された方や学生の方)

●実施内容

・ DVD上映 モニター2ヶ所設置

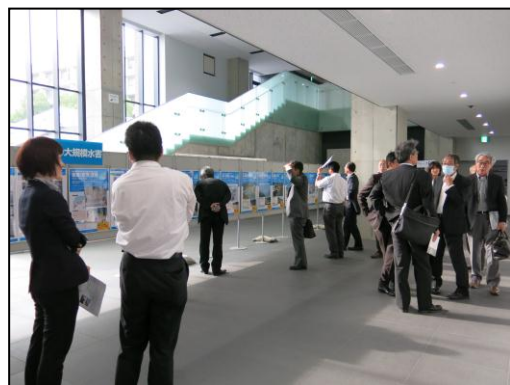
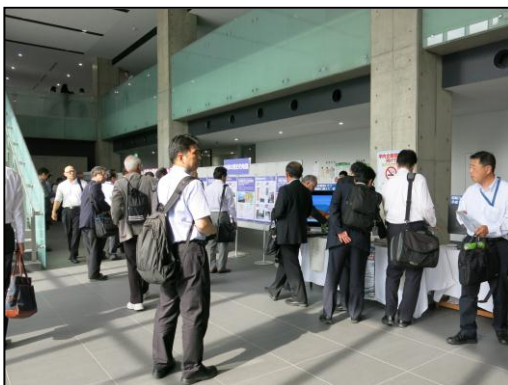
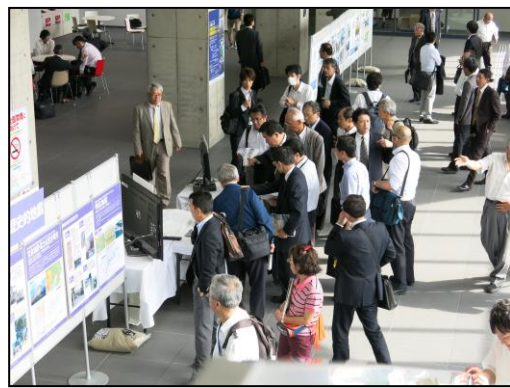
映像DVD 「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」
「昭和34年 伊勢湾台風」「忘れない、東海豪雨」

・ パネル展示 計46枚

明応地震・宝永地震・安政東海地震・三河地震など歴史的地震 20枚、
伊勢湾台風・東海(恵南)豪雨・三六災害など中部の大規模水害 18枚、
痕跡が伝えるもの 4枚、未来への備え 3枚、防災支援を支援します 1枚

・ 啓発資料

近年の豪雨災害記録集 2010 “東海(恵南)豪雨から10年”
今もいきる、濃尾地震
忘れない、東海豪雨



地域づくり技術研究所 活動報告 vol.4

『 土木学会主催 第49回水工学に関する夏期研修会 』に参加

土木学会主催の夏期研修会では、「都市の水防災と河道の維持管理」「伊勢湾台風級高潮と巨大地震津波を考える」をテーマとした大学教授等による講義が催されました。当研究所は、この研修受講者を対象に過去の災害から得た教訓を継承し、防災力を高めることを目的として、この地方で発生した大規模水害のパネル展示を主体とした防災啓発活動を実施しました。

●実施年月日

平成25年8月26日(月)～27日(火)

●実施場所

名古屋工業大学 52号館1階

●主催

公益社団法人 土木学会

●参加者

約200名

●実施内容

- ・ パネル展示 計27枚
伊勢湾台風・三六災害・東海(恵南)豪雨など中部の大規模水害 24枚、未来への備え 3枚
- ・ 啓発資料
近年の豪雨災害記録集 2012



地域づくり技術研究所 活動報告 vol.5

『平成25年度 台風18号災害現地調査』を実施

9月13日に小笠原諸島近海で発生した台風18号は、16日に暴風域を伴って愛知県豊橋市付近に上陸しました。その後、日本列島を縦断して各地の河川が増水し、大きな被害を残しました。

本調査は、この台風18号により特に甚大な被害が発生した桂川、由良川の現地調査を行い、中部地方における今後の災害対応への一助とすることを目的として実施しました。

●実施年月日

平成25年9月26日(木)～27(金)

●調査メンバー

土木学会中部支部タスクフォース

大学教授等 6名

中部地方整備局 企画部及び河川部

中部地域づくり協会

●実施内容

被害状況調査

- ・京都市営地下鉄東西線の浸水被害
- ・観光都市、京都市嵐山の浸水被害
- ・桂川右岸、高級料理旅館の浸水被害
- ・中ノ島、料理屋の浸水被害
- ・左岸土産物売り場の浸水被害
- ・桂川右岸7.2km付近の被災状況
- ・桂川、鴨川合流点付近の被災状況
- ・日吉ダムの洪水調節
- ・由良川の浸水状況及び河川整備
- ・由良川水系大野ダムの洪水調節 等



渡月橋 流木の撤去作業



桂川右岸 料理旅館



桂川左岸の土産物売り場
浸水から約10日で店を再開



最高水位

桂川左岸堤



最高水位

由良川水系大野ダム



最高水位

由良川下流部 舞鶴市志高地区

地域づくり技術研究所 活動報告 vol.6

防災講演会『 9.28 豪雨災害 30 年事業 “9月28日を忘れない” 』に参加

昭和58年9月28日 美濃加茂・可児・坂祝・八百津地区等において木曾川は記録的な大出水となり、越水はん濫などの甚大な被害が発生した「9.28 豪雨災害」から30年の節目の年にあたり、過去の豪雨災害から得た教訓を継承し、防災意識を深めることを目的とし、啓発資料やパネルの展示を通じ、この地域の方を対象とした防災力の向上に向けた防災啓発活動を実施しました。

●実施年月日

平成25年9月28日(土)

●実施場所

美濃加茂市文化会館

●主催

9.28豪雨災害30年事業実行委員会（構成：美濃加茂市、可児市、坂祝町、八百津町、岐阜県、国土交通省 木曾川上流河川事務所、新丸山ダム工事事務所、丸山ダム管理所）

共催：一般社団法人 中部地域づくり協会

●見学者

約700名（会場定員800名）

●実施内容

・パネル展示 計8枚

西濃豪雨、平成22年7月15日梅雨前線豪雨など中部の大規模水害 5枚、
未来への備え 3枚

・啓発資料

近年の豪雨災害記録集2013“特集 9.28 豪雨災害から30年”

講演会では、昭和58年9月28日豪雨災害体験談発表に始まり、群馬大学教授 片田敏孝氏の基調講演と「過去の水害と今後の取り組み」をテーマに座談会が行われました。

本講演会には約700名の入場者があり、熱心にご聴講をいただきました。



地域づくり技術研究所 活動報告 vol.7

『 建設技術フェア 2013 in 中部 』に出展

建設技術フェアは当研究所の継続的な活動として平成22年度より参加しており、今回で4回目の出展となりました。今年度の出展テーマを「大規模災害から学ぶ地域防災力の強化」と題し、中部の歴史的な地震災害から得た教訓を継承し、南海トラフ巨大地震に備えるべく防災意識を深めることを目的として、DVDの上映及びパネル展示等を通じた防災力の向上に向けた防災啓発活動を実施しました。

●実施年月日

平成25年10月24日(木) ~ 25日(金)

●実施場所

吹上ホール (名古屋市中小企業振興会館)

●主催

建設技術フェア in 中部実行委員会

(構成: 中部地方整備局、東海農政局、中部経済産業局、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、名古屋市、静岡市、浜松市、(一社)中部地域づくり協会 含め40団体)

●入場者総数

約10,000人

●実施内容

・ DVD上映 モニター2ヶ所設置

映像DVD 「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」

「南海トラフ巨大地震対策中部ブロック協議会 広域連携防災訓練」

・ パネル展示 計16枚

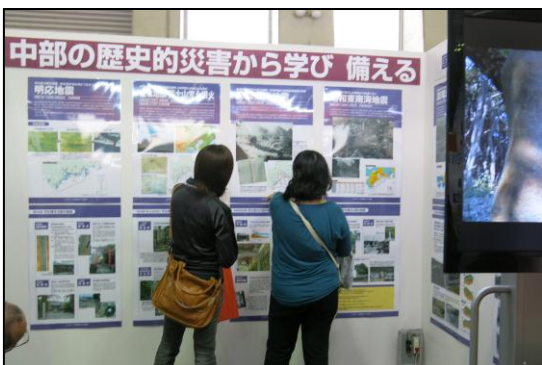
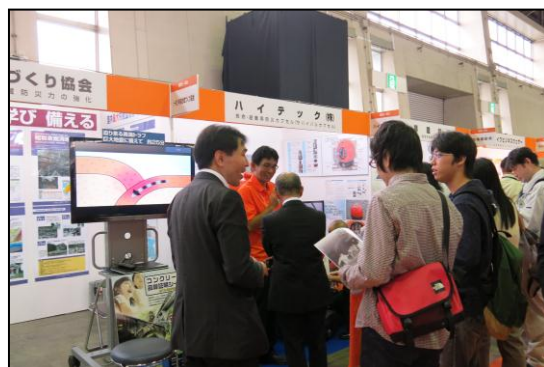
明応地震、宝永地震、安政東海地震など中部の歴史的な地震 12枚、爪跡が伝えるもの 4枚

・ 啓発資料

近年の豪雨災害記録集 2013 “特集 9.28 豪雨災害から 30 年”

中部地方は過去、幾度と無く巨大地震に襲われ、その記録が各地に残されています。南海トラフ巨大地震に直面していると言われる今、私たちは災害から学び教訓とすることが求められています。

当研究所では継がれる巨大地震の爪痕、先人たちの知恵と教訓をとりあげ、巨大地震に対する備えの重要性を分かり易くパネルや映像にして紹介しました。



地域づくり技術研究所 活動報告 vol.8

『 庄内川水防災フォーラム ～近年の豪雨災害を踏まえて～ 』に参加

平成23年台風15号により庄内川下志段味地区に浸水などの被害が発生しました。また、近年頻発している集中豪雨などの災害を踏まえて、自らの命を守るために何を学び、どう行動すれば良いのかについて討議することを目的としたフォーラムが開催されました。当研究所は、防災意識を深めることを目的に、会場での啓発資料の提供を通じた防災啓発活動を実施しました。

●実施年月日

平成26年1月10日(金) 14:00～17:00

●実施場所

今池ガスホール

●主催

庄内川流域水防災情報評議会

(構成:名古屋市、瀬戸市、春日井市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大治町、多治見市、瑞浪市、恵那市、土岐市、岐阜県、愛知県、中部地方整備局、庄内川河川事務所)

後援：中部地区自然災害科学資料センター、水防災セミナー

協力：一般社団法人 中部地域づくり協会

●入場定員

300名

●実施内容

・啓発資料

近年の豪雨災害記録集 2013 “特集 9.28 豪雨災害から30年”



辻本教授の基調講演

フォーラムでは主催者挨拶に始まり、名古屋大学大学院教授 辻本哲郎氏の基調講演「今後の治水・水防災の方向性」や学識者・行政・各種団体の関係者によるパネルディスカッションが行われました。また、休憩時間には当研究所の啓発資料を読まれている姿が多く見受けられました。



パネルディスカッション